

平成25年度 朝霞地区福祉事業報告

1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来38年間、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めて参りました。

平成25年度においても、「みつばすみれ学園」、「すずらん」の障害児・者の2施設をはじめ、和光市から「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」の2園を受託運営するとともに、朝霞市の指定管理者として特別養護老人ホーム「朝光苑」等の管理運営、受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。

平成27年度から適用が義務づけられている社会福祉法人の新会計基準への移行については、経理規程等の条件整備等を鋭意準備を進め、1年前倒しで、平成26年度予算から適用することが実現できました。

更に、障害者の雇用を推進するため、障害者雇用計画を制定するとともに、人材育成や組織の活性化、人材確保を図る観点から、職員昇任試験や職員採用試験等を実施し、社会福祉の環境の変化に対応できる継続的な組織体制の整備を図りました。

2 理事会等の開催

(1) 理事会

開催回数	開催日等			
4回開催	第125回	5月29日	第127回	11月27日
	第126回	8月9日	第128回	26年3月24日

(2) 評議員会

開催回数	開催日等			
4回開催	第1回	5月23日	第3回	11月21日
	第2回	8月6日	第4回	26年3月14日

(3) 3市運営協議会

開催回数	開催日等			
4回開催	第1回	5月17日	第3回	11月11日
	第2回	持ち回り開催(7月、8月)	第4回	26年2月25日

(4) 3市施設運営事務連絡会

開催回数	開催日等			
4回開催	第1回	5月9日	第3回	11月1日
	第2回	持ち回り開催(7月、8月)	第4回	26年2月19日

3 監事による監査

開催回数	開催内容等	
3回開催	決算監査	5月1日 対象：全施設
	中間監査	12月4日 対象：本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
		26年 1月23日 対象：和光市ほんちょう保育園、和光市にいくら 保育園、朝光苑

4 各種試験

(1) 職員昇任試験

試験名	試験内容	試験日	試験結果
主査級昇任試験	論文	12月6日	応募者：14人 合格者：3人
	面接	12月13日	
主幹級昇任試験	論文	12月10日	応募者：5人 合格者：2人
	面接	12月19日	
施設長昇任試験	面接	平成26年2月6日	応募者：2人 合格者：1人

(2) 職員採用試験

募集職種	試験内容	試験日	試験結果
保育士、介護職員、 生活支援員	面接	11月16日	応募者：27人 合格者：3人
管理栄養士又は栄養士	面接	平成26年2月22日	応募者：8人 合格者：1人
保健師又は看護師	面接	平成26年3月10日	応募者：1人 合格者：1人

平成25年度 みつばすみれ学園事業報告

1 事業の概要

児童福祉法の改正を受けて、平成25年4月1日から、正式に「児童発達支援センターみつばすみれ学園」としてスタートしました。これに伴い、児童発達支援管理責任者を専任配置したことにより、児童発達支援の支援計画・療育の充実を図ることができ、福祉サービス事業の拡充に取り組んで参りました。

平成25年度の利用児数は、定員40人に対して、当初76人の契約児（うち、新規利用15人）でスタートし、計99人（前年度90人）となりました。（うち、途中退園児7人、3月末の卒園・退園児25人）また、3月末の卒園・退園児のうち、特別支援学校9人、普通学級1人、特別支援学級5人、計15人が就学し、幼稚園・保育園へ10人が就園しました。

なお、契約児の内、学園利用と幼稚園・保育園利用を併行利用する児童が41人（前年度27人）であり、利用ニーズの変化がより顕著になりました。

児童支援面では、医療的ケアの必要な児童や、感染症等重症化しやすい児童のほか、乳児（0～2歳児）の積極的受け入れを行いました。また、併行利用児が増える中、幼稚園・保育園との連携を進め、保護者への支援に対しても、より専門的な対応に努めました。

家族支援の面では、保護者支援（虐待防止の見守り、子育てモデルがなく発達のイメージが持てない不安、人との関係が作りにくい等）へのニーズが高く、継続する大きな支援課題として取り組みました。

2 主な事業の実施状況

（1）主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者連絡会、交流保育、身体測定、内科・精神発達・整形外科健診（月1回）、理学療法士による機能訓練（週1回・必要に応じ）
4月	クラス懇談会
5月	児童検便（腸内細菌検査）、児童検尿、歯科検診
6月	父親学級、児童検便（ぎょう虫卵検査）
7月	七夕
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（朝霞市）、園外プール、夏祭り
9月	祖父母参観
10月	運動会（宗岡第三小体育館）、クラス懇談会
11月	児童検便（腸内細菌検査）、児童検尿、歯科検診、講演会（「家族支援」）
12月	もちつき、クリスマス会
1月	父親学級
2月	豆まき、発表会
3月	卒園式、お別れ会

（2）相談・会議等

相談等	①療育相談／来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者連絡会
会議等	①療育支援連絡会議（朝霞市・志木市・和光市） ②ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ③通園バス運行会議、給食検討会議

他機関等との交流	①朝霞・志木・和光の関係会議へ出席／障害者自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会、育成保育関連会議 等
	②朝霞・志木・和光の療育グループや会議等へ職員派遣 等
	③和光特別支援学校評議員会
	④中学生職業体験の受入れ／朝霞第二中、志木中、宗岡中、宗岡第二中
	⑤地域の作品展等へ出展／太陽展、志木市総合福祉センターまつり、向陽祭、チャレンジド作品展 等
	⑥施設便りの発行・配布(月1回)

3 利用状況

・ 児童在籍状況（契約児童） (月初日在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	※年月	2月	3月	合計
朝霞市	31	34	35	35	34	36	35	35	35	35	35	35	415
志木市	22	22	25	25	25	27	27	26	27	27	27	27	307
和光市	23	23	26	27	27	28	31	30	30	31	30	30	336
合計	76	79	86	87	86	91	93	91	92	93	92	92	1,058
入所者数	※17	6	4	0	5	3	0	1	2	0	0	0	38
退所者数	1	0	0	1	0	1	2	0	1	1	0	25	32

※4月1日付入園児=15人

4 職員関係

(1) 健康管理

- ア 定期健康診断(年1回)
- イ 生活習慣病健診(年1回)
- ウ 腸内細菌検査(年2回／0-157感染検査含、直接処遇職員)

(2) 研修参加

ア 派遣研修

4/20	人材育成現場研修事業	埼玉県主催
6/1	秩父学園 自閉症子育て支援セミナー	国立障害者リハビリテーションセンター主催
6/14	新任職員研修会	埼玉県発達障害福祉協会主催
6/25	子供の発達支援巡回事業研修会	埼玉県主催
7/4・5	指導的職員研修	埼玉県社会福祉協議会主催
7/23	摂食・嚥下リハビリテーション初級研修	埼玉県社会福祉協議会主催
7/26	障害児等療育支援事業職員研修・連絡調整会議	埼玉県社会福祉事業団嵐山郷主催
8/5	発達障害に関する研修	埼玉県社会福祉協議会主催
8/20・9/21	発達支援サポーター育成研修・事例検討会	埼玉県主催
8/29・30・9/5	埼玉県サービス管理責任者等研修Ⅰ及びⅡ	埼玉県主催
(H26)1/8・10	新任職員フォローアップ研修	埼玉県社会福祉協議会主催
1/29・30	発達相談支援員研修会	国立障害者リハビリテーションセンター主催
2/6・7	中堅職員フォローアップ研修	埼玉県社会福祉協議会主催
2/17	埼玉県障害児通園施設職員実践交流セミナー	埼玉県発達障害福祉協会主催

イ 職場内研修

4/22	発達障害時にかかる医療・療育の専門職の人材育成研修報告
------	-----------------------------

5/21	「療育・家族支援」を考える研修
6/26	第1回子供の発達支援巡回事業研修会報告
7/1	「母との接し方の基本と子どもの見方」研修
12/16	虐待・事故防止研修
12/17	手洗い・ノロウィルス対策研修
12/25	手洗い・ノロウィルス対策実技研修
(H26) 1/28	母子登園・単身登園についての研修

5 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金) ※印はすずらんととの折半額 —敬称略—

期 日	寄 附 者	金 額
5/29	坂本隆信	2,000円
8/23(夏祭り)	朝霞市北部地区民生委員児童委員協議会	5,000円 ※
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円 ※
	柴崎健司(だんご販売の売上金)	5,000円 ※
12/27	栗原友介(嘱託医報酬分)	625,245円
(H26) 1/24	第一生命労働組合池袋総合営業職支部	10,000円
合 計	6件	652,245円

(2) ボランティアの受入れ

行 事	団 体	延べ人数
夏 祭 り(8/23)	製作・準備(8/7): 1団体(28人)	93人
	当日: 4団体(59人)、個人(6人)	
運 動 会(10/19)	当日: 1団体(5人)、個人(2人)	7人
もちつき(12/5)	当日: 1団体(20人)	20人
クリスマス会 (12/20)	製作・準備(12/10): 1団体(32人)	47人
	当日: 1団体(15人)	
通年ボラ	(保育・製作・付添い児): 個人(14人)	351人
合 計		518人

(3) 地域施設との交流(集団交流)

対 象	対 象	交 流 先	回 数
あゆみクラス	3～5歳児	朝霞市 北朝霞保育園	10回
ふたば1クラス	3～5歳児	朝霞市 本町保育園	6回
ふたば2クラス	3～5歳児	朝霞市 泉水保育園	5回
合 計		延べ3機関	21回

(4) 見学研修等受入れと職員派遣

	件 名	実施日数	機 関	延べ人数
受入	卒園・退園児の引き継ぎと相談	4日	4機関	10人
	学園療育についての見学と体験	20日	17機関	64人
	学園利用児の様子観察	7日	7機関	14人
	次年度就学児・移行児の様子観察	1日	1機関	1人
	学園の見学(市議会議員 など)	1日	1機関	1人

	学園の見学(入園希望者 など)	59日	—	65人
	中学生の職業体験	12日	4機関	36人
派遣	療育についての講演	1日	1機関	1人
	育成保育検討会・審査会	3日	3機関	4人
	育成保育対象児の様子観察	5日	7機関	8人
	フォローグループの援助	10日	1機関	10人
	在園・退園児のケースカンファレンス	3日	4機関	4人

(5) 実習受入れ

- ア 介護等体験実習 2学校 延べ3人
 イ 社会福祉施設実習 7学校 延べ8人 合計：延べ9学校 延べ11人
 ウ 実習受入れ校
 ・埼玉大学 ・跡見学園女子大学 ・十文字学園女子大学 ・東京家政大学
 ・聖学院大学 ・草苑保育専門学校 ・埼玉学園大学 ・道灌山保育専門学校

6 障害児等療育支援事業実績（療育相談利用状況）

(延べ回数)

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療育	検診			
	朝霞市	3	14	50	0	0	20	87
志木市	0	2	27	0	2	16	47	25
和光市	0	0	39	0	0	16	55	39
新座市	1	0	2	0	0	0	3	0
その他	0	0	16	0	0	3	19	16
合計	4	16	134	0	2	55	211	118
	20		136					

7 子どもの発達支援巡回相談事業実績

(延べ箇所数)

	朝霞市	志木市	和光市	新座市	合計
保育園	6	6	0	4	16
幼稚園	0	3	0	5	8
子育て支援センター	2	1	2	1	6
合計	8	10	2	10	30

平成25年度 すずらん事業報告

1 事業の概要

平成25年度の利用者数は、定員40人に対し登録者が50人でした。年間利用率は86.6%、前年度比3.8ポイントの上昇を図ることができました。

利用者支援については、「充実した日常生活の提供、健康づくりの取り組み、サービス提供の拡大」を目標として、利用者主体の支援を展開しました。近年の利用者傾向として、日常生活動作に対する介護量が増加し、全般的な身体状況の低下が見られるようになりました。

個別支援においては、利用者の状態像に合わせた支援を展開し、個性を尊重し個々の役割意識を醸成していく取り組みを行いました。作業支援においては、季節感を意識した作品づくりや、受注製作にも着手するなど、作業成果が目に見えるように心がけ、また、園芸及びリサイクル作業も継続して行い、利用者の充実感が達成できるような支援を行いました。

行事においては、運動会、夏祭り、すずらん祭り等の主要行事や季節行事等を開催し、ボランティア活動の受け入れを通して、地域との関わりを深める機会を設けました。また、クラブ活動やティータイムを定期開催することにより利用者交流を促進し、所内生活にアクセントをつけ、精神生活を豊かにできるように年間を通して実施しました。

開設から15年が経過する中で、家庭状況の変化(介護力の低下)などから、利用者を取り巻く環境も変化し、日々の通所が困難な方々が見受けられるようになりました。今後は、これまで以上に、利用者個人の生活背景に応じた支援が必要とされ、状況に応じた柔軟な対応をしていくことが求められています。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(それぞれの誕生日に実施)、地震・火災避難訓練、身体測定、製作品販売、音楽療法(隔月)、ティータイム、クラブ活動(年10回)、健康診断等/内科・精神科・整形外科・理学療法(週1回)
4月	出発式、春ハイキング(グループ別)、歯科検診
5月	端午の節句、運動会(宗岡第三小体育館)、検便(ぎょう虫卵検査・腸内細菌検査) 希望制バス旅行(2回/さいたま市青少年宇宙科学館、川越市博物館)
6月	希望制バス旅行(4回/伊北田、伊ノ野、井ノ上、伊工業、豊田国) 映画鑑賞会
7月	七夕
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)、夏祭り
9月	ぶどう狩り、お月見会、定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
10月	秋ハイキング(2グループ)、検便(ぎょう虫卵検査・腸内細菌検査)、映画鑑賞会
11月	秋ハイキング(1グループ)、すずらん祭り
12月	もちつき、クリスマス忘年会
1月	カラオケ演芸大会
2月	豆まき、映画鑑賞会
3月	ひな祭り会
随時	希望制小人数旅行(12回37人/品川アキアスタジアム、お台場、わくわくドーム、アンパンマンショップ、サンシャイン水族館、上尾丸山公園、上野動物園、鉄道博物館、浦和ロイヤルパインズホテル、越谷レイクタウン、グリーコ北本工場)

(2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④ケース支援・打ち合わせ会議(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(随時) ⑦保護者と施設間連絡会議(年3回)
関係機関会議	①関係市担当者と施設間連絡会議(年2回) ②4市医療職ネットワーク会議(年4回)

3 利用状況

(1) 市別在籍利用者数

(月初日在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26.1月	2月	3月	合計
朝霞市	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	138
志木市	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29	356
和光市	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合計	50	50	50	50	50	50	49	49	48	48	48	48	590

(2) 障害程度別内訳

(H25.4.1現在：人)

療育手帳 所持者	療育手帳 のみの者	身体障害者手帳を併せ持つ者						合計
		1級	2級	3級	4級	2種		
㊤	37	11	14	8	0	1	4	27
A	7	6	1	0	0	0	1	2
B	4	3	0	0	0	0	1	1
無し	2	0	2	0	0	0	0	2
合計	50	20	17	8	0	1	6	32

※車椅子使用者16人、歩行不安定時車椅子使用者4人、全盲1人

4 職員関係

(1) 健康管理

- ア 定期健康診断(年1回)
- イ 生活習慣病健診(年1回)
- ウ 腸内細菌検査(年2回/0-157感染検査含、直接処遇職員)

(2) 研修参加

ア 派遣研修

5/7・8、6/24・25	中堅職員研修	埼玉県社会福祉協議会主催
5/29	企業人権問題研修会	志木市・志木市教育委員会ほか主催
7/3	障害者虐待防止セミナー	埼玉県社会福祉協議会主催
8/29・30、9/5	サービス管理責任者研修Ⅰ・Ⅱ	埼玉県主催
10/10	障害のある方のための安全な栄養摂取と口腔ケア	埼玉県総合リハビリテーションセンター
(H26) 2/6・7	中堅職員フォローアップ研修	埼玉県社会福祉協議会主催
2/17・18	新任職員フォローアップ研修	埼玉県社会福祉協議会主催

イ 職場内研修

随時実施	①虐待防止の取り組み、②ヒヤリ・ハット対策、 ③手洗い・ノロウイルス対策、④派遣研修の報告
------	--

5 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金) ※印はみつばすみれ学園との折半額 —敬称略—

期 日	寄 附 者	金 額
5/18(運動会)	和光ライオンズクラブ	5,000円
8/23(夏祭り)	朝霞市北部地区民生委員児童委員協議会	5,000円 ※
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円 ※
	柴崎健司(だんご販売の売上金)	5,000円 ※
11/9(すずらん祭り)	和光ライオンズクラブ	5,000円
	志木ライオンズクラブ	10,000円
12/27	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円
(H26) 1/21	個人匿名	10,000円
3/17	栗原友介(嘱託医報酬分)	41,683円
合 計	9 件	336,781円

(2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施、 志木市商工会「かっぱふれあい館」出店、宮戸橋作品等販売(年7 回)
9/30	利用者部会(埼玉県発達障害協会)参加
10/18	北足立郡市町人権フェスティバル(志木市)参加
11/28	和民食事会(和民提供)
12/3~9	和光市チャレンジド展示
(H26) 2/6	利用者部会(埼玉県発達障害協会)参加
3/8~9	志木市総合福祉センターまつり展示

(3) 実習生受入れ

産業現場実習	延べ 21日	4 輩	延べ 23人	所沢おおぞら・和光・和光南特別支援学校 朝霞第二中特別支援学級
中学生職業体験	延べ 12日	4 輩	延べ 33人	志木中・宗岡二中・朝霞一中・朝霞三中
介護等体験事業	5 日	1 人	延べ 5 人	跡見学園女子大学
保育士養成実習	延べ 23日	2 人	延べ 23人	秋草学園短期大学・帝京平成大学

(4) 施設見学者(関係機関)

7/31	和光特別支援学校教員 1 人	8/12	和光特別支援学校教員 3 人
8/5	和光特別支援学校教員 3 人		

(5) ボランティア受入れ

通年(茶道・組ひも・畑)	個人(3人)	延べ79人	11/9(すずらん祭り)	個人(9人)	延べ 9人
5/13(琴演奏会)	1団体(5人)	延べ 5人	12/6(もちつき)	1団体(20人)	延べ20人
5/19(運動会)	個人(6人)	延べ 6人	1/31(カラオケ演奏会)	個人(3人)	延べ 3人
8/23(夏祭り)	4団体(56人)、個人(3人)	延べ59人			

(6) その他

年12回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)
------	-----------------------------------

平成25年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

1 事業の概要

子ども達一人ひとりの個性や個人差を把握しながら、自発性、主体性を尊重し、安心して安定した環境の中で、「心身ともに健康な体づくり」を推進して参りました。また、子ども達が、様々な世代の人達とのふれあいを通じて、愛情を感じ、自己肯定感を持ち、更に、異年齢・同年齢との関わりの中で、協調性を育み、将来に向けたより良い人間関係が築けるよう取り組んで参りました。

保育の特徴である音楽表現や運動プログラム、食育を取り入れた保育においては、感覚機能を促し、創造性や表現力を育んで参りました。障がいや発達ゆるやかな子の保育においては、専門機関との連携を図りながら、一人ひとりの発達や状況に応じた保育を行って参りました。就学を迎える5歳児においては、小学校や保育クラブとの交流や職員同士が連携を図りながら、スムーズな移行を目指して参りました。

また、次世代育成支援として、中高生の職業体験や保育園体験事業を受け入れ、将来の人間形成に役立つように場の提供を行って参りました。更に、地域支援として、園開放事業「あそぼう会」を行い、親子に遊びの提供や、親子のより良い関係に繋がるよう配慮し取り組みました。育成一時保育については、利用児童が安定し、保護者が安心して利用できるように努めて参りました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、消防署立ち会い訓練（1回）、防犯対策訓練（3回実施、県警防犯指導1回、実技指導）、誕生会、身体測定（毎月実施）、市内保育園関係会議（園長会議、育成保育担当者会議、研修委員会、看護業務会議、栄養士会議、各年齢別会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会）、園だより、クラスだより、献立表、三色食品群の献立、ほけんだより、地域交流事業園開放（育児相談ほか）
4月	受入れ保育、5歳児親子遠足
5月	全クラス懇談会、4歳児親子遠足、保育参加
6月	ありがとうの日、防犯対策訓練
7月	保育園運営委員会、七夕、じゃがいも掘り、わっこまつり、流しそうめん
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（朝霞市）、お泊まり保育
9月	大規模地震を想定した児童引き取り訓練、十五夜、おじいちゃんおばあちゃんの日
10月	運動会
11月	2・3歳児親子ふれあい会、1・2歳児懇親会、5歳児懇談会、焼き芋、勤労感謝の日（公共機関へのお礼）、サンマの塩焼き
12月	発表会、クリスマス会、大根・ニンジン堀り
1月	もちつき会、2歳児懇談会
2月	節分、保育園運営委員会
3月	ひなまつり、卒園式、入園説明会、卒園思い出遠足

(2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定、内科健診（2回）、歯科検診、乳児健診、ぎょう虫検査、尿検査
- ・ 手洗い指導、歯磨き指導（看護師） 対象／3・4・5歳児

(3) 異年齢交流事業

- ・ わくわく広場（3～5歳児の異年齢グループ）
- ・ 散歩、集団遊び、製作、調理保育、ごっこ遊び

(4) 音楽表現遊び

- ・ 音楽を通じた表現力、コミュニケーションの養成。

(5) 運動プログラム

- ・ 柳沢運動プログラムに基づき、運動能力、姿勢保持能力、生活能力の向上。

(6) 特別保育事業

- ・ 巡回相談／4人

(7) 世代間交流

- ・ 敬老の日におじいちゃん、おばあちゃんを招待／4・5歳児
- ・ 朝光苑デイサービスセンター交流（2回）、本町喫茶サロン交流（3回）／5歳児

(8) 地域交流事業

- ・ あそぼう会（園の開放）／年18回、利用親子延べ人数209人
- ・ 行事招待／わっこまつり（卒園児、地域住民）、運動会（卒園児、地域住民）、焼き芋会（あそぼう会親子）、もちつき会（あそぼう会親子、保護者）
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動／4月、9月、1月
- ・ 和光市図書館図書団体貸し出し利用
- ・ 本町保育クラブとの交流
- ・ 地域高齢者の喫茶サロン（市のウェルカム事業）と5歳児交流
- ・ 食育研究ボランティア（大根堀り、みそ作り）
- ・ 茶道ボランティア（5歳児対象）
- ・ 絵本とお話の会ボランティア（5月～26年2月・9回）

(9) 食育・調理保育

- ・ 調理保育／3・4・5歳児（季節行事関係、社会行事関係）
- ・ 畑での野菜栽培／インゲン、ラデッシュ、ピーマン、プチトマト、ナス、キュウリ、トウモロコシ、キャベツ、枝豆、小松菜、ルッコラ、ホウレンソウ、水菜、ニラ、大根、ニンジン
- ・ 食育指導／だしの試飲、食べ物と身体の関係（栄養士） 対象／3・4・5歳児

(10) 保護者見学受入れ

- ・ 妊婦 4人、0歳児 43人、1歳児 14人、2歳児 6人、3歳児 6人、4歳児 2人、5歳児1人

(11) 実習生・ボランティアの受入れ

- ・ 保育実習生 5校・8人
- ・ 看護実習生 2人
- ・ 裁判所調査官研修 4人

- ・ 和光市新任教員研修 2人
- ・ 職業体験 3校・8人（大和中、和光第二中、和光高校）
- ・ ボランティア 20人

3 利用状況

(1) 児童在籍状況

月初日在籍児童数

(単位：人)

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月	3月
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14
2歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
3歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19
5歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	20
合計	97	97	97	98	97	97	97	98	97	97	97	96

平均在籍率	∴ 107.7%	土曜日平均利用者数	∴ 14.3人
-------	----------	-----------	---------

(2) 育成一時保育事業

(単位：人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月	3月	合計
登録人数	20	19	19	21	22	25	25	25	27	27	27	28	—
利用延人数	41	34	38	37	42	46	55	43	40	50	51	56	533

平成25年度 和光市にいくら保育園事業報告

1 事業の概要

平成25年4月から、定員が90人から110人に増員となり、保育室の使い方やロッカーの配置など、状況に合わせた室内環境の改善に取り組んで参りました。

食育の取り組みとしては、畑で栽培し収穫したサツマイモを使い、園庭で芋煮会を行いました。また、2階テラスでは、プランターで夏野菜や冬野菜の栽培を行い、幼児クラスの園児が調理保育に活用しました。

保護者支援においては、保育参加には延べ70人の参加があり、通園児世帯の約半数が参加されました。しかし、一方では、上半期に家庭事情による退園が4件続き、保護者支援の重要性と難しさを改めて感じた年となりました。

地域支援においては、「園開放事業」や「地域在宅親子講座」に、引き続き取り組んで参りました。「地域在宅親子教室」の事業である「育休ママのおしゃべり広場」に参加した保護者については、ほとんどの方が保育園の見学を希望されました。また、障害や病気を持つ子の親子支援教室「クローバーグループ」については、保健センターと協力し、月1回のペースで年10回行いました。

小学校との連携は、職員間の情報交換や園児の学校見学などを通じて、就学へのスムーズな移行を目指し、今後も関係機関と協力して参ります。

なお、「保育所体験事業」は、利用はなく、今後のあり方を踏まえ、見直しを検討して参ります。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（4回）、消防署等立ち会い訓練（火災1回、防犯1回）、誕生会、布団乾燥、市内保育園関係会議（園長会議、育成保育連絡会議、研修委員会、看護業務会議、栄養士会議）、園だより「そよかぜ」（12回発行）、クラスだより（12回発行）、献立表（毎月発行）、保健だより「げんきっこ」（12回発行）
4月	懇談会（0歳～5歳）、わくわく遠足（5歳児）
5月	わくわく遠足（4歳児）
6月	お泊まり保育（5歳児）、保育園運営委員会
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（4・5歳児）、学童クラブ交流（新倉）
9月	児童引き取り訓練、世代間交流
10月	運動会
11月	にいくら祭り、芋煮会
12月	もちつき会、発表会（3～5歳児）
1月	保育園運営委員会、懇談会（5歳児）
2月	懇談会（0～4歳児）
3月	卒園式、入園説明会、おもいで遠足（5歳児）
※ 季節行事	こいのぼり会、七夕会、お月見会、豆まきなど

(2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月：尿検査も合わせて実施）
- ・ 乳児健診（5月～26年3月の隔月、3月は新入園予定乳児も含む）

- ・ 歯科検診（6/27）、ぎょう虫卵検査（6月）
- ・ 巡回相談（7/2、12/2 臨床心理士による対象児童の観察と助言）

（3）地域交流事業

- ・ 園開放（5月～26年2月・毎週火曜日）30回実施・延べ参加親子119組
- ・ 地域在宅親子講座 5回実施・延べ参加親子49組
- ・ 和光病院交流（4歳児） ※5月～11月に実施（7、8月は除く）
6回実施（初回と最後は全員参加。他はクラスの半分ずつ交代で参加）
- ・ 和光市の福祉の里交流（5歳児・全4回）
- ・ 北原小学校交流（1年生来園6/25、5歳児訪問12/18、授業参観2/25）
- ・ 新倉小学校見学（2/26）
- ・ 学童クラブ交流（新倉：8/21）
- ・ 絵本の読み聞かせ（ボランティア「ひまわりクラブ」毎月1回）

（4）特別保育事業

- ・ 年末保育（12/30・10人）
- ・ 親子支援教室 毎月1回実施・全10回（4月、1月を除く）
- ・ 保育参加（5/20～1/31 延べ参加人数70人）

（5）親子遊び教室の開催

- ・ 親子クッキング（1回）
- ・ 懇親会（1歳児クラス、3、4歳児クラス合同 各1回）
- ・ 親子折り紙教室（にいくら祭りにて実施）

（6）実習生・ボランティアの受入れ

- ・ 保育士実習 6校・8人
- ・ 看護専門生実習 3日間・2人
- ・ 和光市立小中学校初任者研修 2日間・2人
- ・ 中学生・高校生体験学習 16人（大和中、和光第二中、和光第三中、和光高校）
- ・ 体験ボランティア等 14人（延べ人数）

※ 見学の受入れ（入園前の事前見学、学生、保育者など）

3 利用状況

月初日在籍児童数（育成児童／2歳児1人 計1人）

（単位：人）

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月	3月
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18
2歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
3歳児	26	26	26	25	26	26	26	26	26	28	28	28
4歳児	23	22	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23
5歳児	24	25	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23
計	125	125	124	122	124	124	124	124	124	126	125	125

平均在籍率	； 113.0%	土曜日平均利用者数	； 20.0人
-------	----------	-----------	---------

平成25年度 朝光苑事業報告

1 事業の概要

介護老人福祉施設事業、在宅者福祉事業とも、基本理念「地域に生きる、安心をつくる、手をつなぐ」の三指標に基づき、各事業が持つ機能を活用し、入居者及び利用者が地域で安心して暮らせるよう、個々人のニーズを把握し、質の高いサービスの維持と更なる向上に努めて参りました。

介護老人福祉施設事業においては、入所者の日常生活をはじめ、機能訓練、健康管理などの支援を行い、安定した生活を送ることができました。また、定員を5人増員し75人となり、平均在籍者は70人を越えましたが、入院や退所が多く、利用率は前年度と比較し、ほぼ横ばいとなりました。

短期入所生活介護事業においては、居宅介護支援事業所との積極的な連携により、利用者のニーズに適切に対応して、利用率増に繋げて参りました。

デイサービス事業においては、利用時間を5時間～7時間を7時間～9時間に延長し、土曜日の営業開始、定員数を増員したことなどにより、利用者の日常生活の支援、家族支援、利用率の向上にも繋げることができました。

居宅介護支援センターにおいては、相談業務の充実に努め、利用者が適切に保健、医療、福祉サービスを楽しむことができるよう支援いたしましたが、年度途中の職員の退職などもあり、年度後半では、居宅介護支援件数は減少いたしました。

地域包括支援センターにおいては、予防給付の対象となる要支援者の介護予防サービス計画を作成するとともに、介護予防の事業者等と密接な連絡調整を行い、要支援者が介護予防サービスを適切に利用することができるよう支援いたしました。また、講座の開催や地域の健康教室、認知症サポーター養成講座など多角的な支援、介護予防の普及啓発を図りました。

2 介護老人福祉施設の状況

(1) 主な事業の実施状況

月例事業	誕生会、注文買物、店屋物を取る日、音楽療法、理髪、嘱託医健診(内科/週2回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)、歯科検診(随時)
4月	お花見散歩、料理クラブ
5月	菖蒲湯、端午の節句、母の日の祝い会、日帰り旅行(平林寺)
6月	父の日の祝い会、料理クラブ、日帰り旅行(イオン高島平)
7月	七夕、日帰り旅行(サンシャイン水族館)、上の原町内会盆踊り大会参加、地震避難訓練
8月	料理クラブ、彩夏祭花火見学
9月	秋遊会、火災避難訓練
10月	胸部レントゲン撮影、インフルエンザ予防接種、日帰り旅行(川越市内、平林寺)、料理クラブ
11月	日帰り旅行(川越散策)
12月	年末お楽しみ会(ご家族参加)、ゆず湯、料理クラブ、火災避難訓練
1月	正月遊び、書初め
2月	豆まき
3月	ひな祭り

(2) 利用状況

ア 特別養護老人ホームの入所者状況（平成26年3月31日現在）

（ア）入退所の状況（単位：人）

	現 入 所 者			入退所者数	
	男	女	計	入所	退所
合 計	21	50	71	18	15

（イ）在籍状況

（単位：人）

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	当月初		68	71	70	70	71	71	73	74	73	72	72	75
入所者		3	0	2	1	2	2	2	1	1	1	3	0	18
退所者		0	1	2	0	2	0	1	2	2	1	0	4	15
当月末		71	70	70	71	71	73	74	73	72	72	75	71	*

※年間利用率：91.4%

（ウ）介護度別構成

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
人 数	3人	4人	11人	25人	28人	71人
割合 %	4.3%	5.6%	15.5%	35.2%	39.4%	100.0%

※平均要介護度：4.0

イ 短期入所生活介護の状況

（単位：人）

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	利用者		42	41	41	44	47	41	43	42	42	37	38	17
延べ人数		351	388	395	386	456	414	412	352	379	329	331	146	4,339

※1日平均利用者数：11.9人（定員14人）

※年間利用率：84.9%

（3）外部協力・援助等

ア 寄附の状況（現金）

—敬称略—

期 日	寄 付 者	金 額
6/25	道野 真己	100,000円
合 計	1件	100,000円

イ ボランティア状況

（ア）団体 5団体

ボランティアあすなろ、すずらんグループ、虹の会、ボランティアハーモニカ、楽脳体操

（イ）個人 25人

（ウ）活動内容 ※延べ人数＝812人 月平均＝67.7人

七宝焼きクラブ、書道クラブ、詩吟クラブ、大正琴クラブ、シーツ交換、散歩の付添い、踊り、体操、おむつたたみ、繕い物、清掃、植木剪定、洗濯物たたみ、行事手伝い、車椅子清掃、ギター演奏、ピアノ演奏、琴演奏、歌と踊り、ミシン掛け

ウ 地域との交流

（ア）交流／朝霞ボーイズガールズスカウト、朝霞第一中学校生徒七夕飾り、上の原町内

- 会盆踊り、向陽園ふれあいの集い作品出展、朝霞第八小学校児童
 (イ) 体験ボランティア／朝霞高等学校吹奏楽
 (ウ) 体験研修／朝霞市役所新任職員、朝霞市教育委員会 5 年次教員、朝霞西高等学校新任教員
 (エ) 職業体験／朝霞第一中学校生徒、朝霞第三中学校生徒、朝霞第四中学校生徒、朝霞第五中学校生徒

エ 実習受入れ

朝霞准看護学校、東京福祉保育専門学校、東京福祉専門学校、東洋大学、文京学院大学、埼玉県社会福祉協議会、朝霞市インターンシップ 計：27人

オ 面会者数

延べ人数	1日平均人数
6,474人	17.7人

3 デイサービスセンターの状況

(1) 主な事業の実施状況

ア 月例事業

誕生会、PTリハビリ、体重測定

イ 年間事業

4月	お花見
7月	七夕、地震避難訓練
8月	スイカ割り
9月	外出リハビリ(ブドウ狩り)、火災避難訓練
10月	秋の味覚(サンマ焼き)
12月	年末お楽しみ会
1月	正月遊び、もちつき
2月	節分

(2) 利用状況

(単位：人)

人数 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	54	55	55	59	60	60	67	63	66	63	60	59	
延べ利用者数	348	392	396	484	460	417	503	469	447	457	414	491	5,278

※開所日／291日 1日平均利用者数／18.1人(定員25人)

※平均利用率／72.5%

(3) 外部協力・援助等

ア ボランティア状況

	回数	活動内容
個人	延べ19回(2人)	書道、将棋、気功
団体	延べ45回(4団体)	レモンの木(マッサージ)、音楽活動(民謡)、すずらんグループ、化粧

イ 地域との交流

和光市ほんちょう保育園との交流（2回）

4 居宅介護支援事業の状況

(1) 利用状況

(単位：件)

件数 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数	74	77	76	78	82	85	88	84	83	68	66	64	925
介護予防支援件数	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	27
認定調査件数	0	3	5	7	7	3	3	4	3	0	2	2	39
住宅改修理由書作成件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
福祉用具申請手続件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

5 地域包括支援センターの状況

(1) 利用状況

(単位：件)

件数 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数	114	112	115	116	116	112	115	114	111	111	117	120	1,373
二次予防対象者介護予防支援件数	7	0	0	3	0	22	4	1	38	1	0	16	92
住宅改修理由書作成件数	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	9

(2) 職員状況

① 市内会議等

地域包括支援センター連絡調整会議、二次予防事業担当者会議、地域包括支援センター運営協議会、介護保険サービス調整会議、地域密着型サービス運営推進会議、彩夏ちゃん健康長寿プロジェクト推進事業

② 地域向け講座

認知症サポーター養成講座、地域支えあいネット講座、ケアマネジャー向け支援講座

③ 講師派遣

朝霞市社会福祉協議会講座、朝霞市民生委員児童委員協議会（地区）研修会